

日本学術会議in京都



平成30年12月22日、日本学術会議in京都第二部分科会4、「若手研究者は科学・学術について何を考えているのか」を若手アカデミーが担当しました。

開催地のメンバーとして、新福と西嶋がコーディネーターを務めました。

ファシリテーターに日本医療政策機構の乗竹亮治事務局長を迎え、岸村、新福、岩崎、高瀬、川口、伊藤、松中、谷口の8名がパネリストとして、若手アカデミーの活動、若手研究者が面している課題、今後の展望についてディスカッションしました。





左より乗竹氏、谷口、伊藤、新福、渡辺副会長、山極会長、川口、岸村、松中、岩崎、高瀬

Slidoを用い、会場から発言を受けながらのディスカッションを行い、その後学生や一般参加者からも積極的な質問がありました。

分科会に山極会長、渡辺副会長らにお越しいただき、終了後に若手アカデミーと談話の時間をいただきました。今後のシニアとの連携につながる貴重な機会となりました。